

教皇フランシスコ、 属人区長を謁見され る：「出かけて使徒 職をしましょう」

教皇フランシスコは、11月29日、午前9時15分（ローマ時間）に、オプス・デイ属人区長フェルナンド・オカリス師と総代理マリアノ・ファッツィオ師の訪問を受けられた。

2021/11/29

教皇様との30分ほどの謁見の間に、
属人区長と総代理は、様々な国にお
けるオプス・デイの信者の使徒職の
多様な側面について報告しました。
特に、使徒的な活動を改善するた
めに、組織の簡素化を進めているこ
とを説明しました。教皇様は報告を喜
ばれ、「皆が街に出て使徒職を行う
ことが重要です」とコメントされま
した。

教皇様は、オプス・デイの信者が創
立の精神を忠実に生きると同時に、
現代文化の課題がキリスト教的生
活にもたらず変化に対応してほしい
との願いを表明されました。ま
た、社会に蔓延している表面的で
正義感に欠ける風潮に立ち向かう
ために、真実の精神を世界に広め
ることを勧めました。

教皇様は祝福をくださり、教会の
ために働く属人区の活動に感謝の
意を表されました。

属人区長は、オプス・デイの2人の
信者が出版した聖ヨセフに関する2
冊の中国語の本を教皇様に贈りまし
た。教皇は、2020年3月27日の「特
別な祈りの時」に関する2冊の本を
贈ってくださいました

pdf | から自動的に生成されるドキュメン
ト [https://opusdei.org/ja-jp/article/
Kyoukou-Ekken-2021-11-29/
\(2025/04/04\)](https://opusdei.org/ja-jp/article/Kyoukou-Ekken-2021-11-29/)